

幼保小連携モデル事業 実践研究校

札幌市立栄南小学校

1 はじめに

本校では、以前校区内にあった市立幼稚園と年間を通して交流を行っていたが、数年前に閉園となった。そのため、年4回実施されている「東区幼保小連携推進協議会」での情報交換や交流、そして、入学児童の引継ぎなどをきっかけに幼保小の連携について模索してきた。そして、昨年度より「丘珠幼稚園」年長組と「さっぽろ夢保育園」との交流を実施している。

交流の在り方として、「丘珠幼稚園」年長組とは本校1年生と年間を通して交流を行っている。また、「さっぽろ夢保育園」とは、主に本校の施設を利用したり、3年生の総合的な学習の時間『マイタウン』で施設を見学させてもらったりする交流を行っている。

2 連携で大切にしていること

幼保小が連携して活動していくために、大切にしなければならない点がある。

まず、活動に「**互恵性**」があることである。小学校教育にもねらいがあると同時に幼児教育にも大切

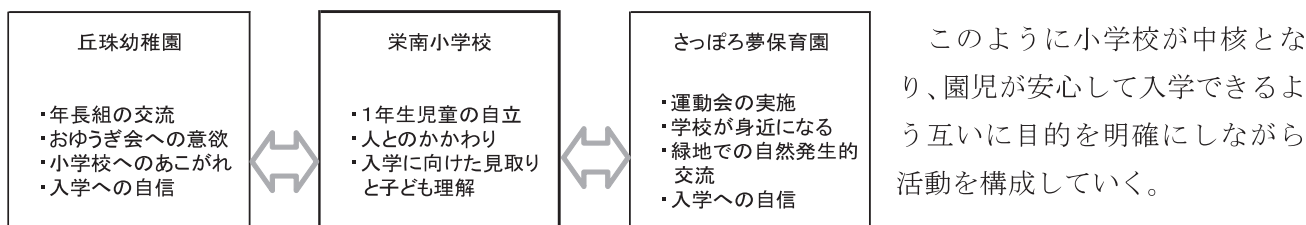
なねらい、目標がある。互いに理解し合いながら、共にねらいを達成し、子どもの育ちにつながる連携でなければならない。

次に、そのためには「**相互理解**」が必要である。顔を合わせて行う「推進委員会」を行っているが、なかなか共通の時間を設定することは難しい。そこで、メールを十分に活用する。教頭や教務主任が窓口となり、活動についての連絡・調整を行い、教職員に知らせるという流れをつくった。

さらに、「**無理のない**」計画を立てることである。行事が錯綜する中、子どもたちがじっくり活動に浸ったり、振り返ったりできる日程や内容を検討した。年間を通して長く続けていく取組であるからこそ、互いに負担にならないように心掛ける必要がある。

月日	時間	丘珠幼稚園との交流		さっぽろ夢保育園との交流
		活動テーマ	活動場所	活動内容
6月27日(土)				運動会会場借用(体育館)
7月14日(火)	16:30~	第1回 推進委員会		毎週木曜日 栄南緑地開放での交流
9月17日(木)	10:30 ~11:30	対象との出会い	栄南緑地	
10月 3日(土)		近隣幼稚園・保育園に「地域公開日」案内発送		
10月 9日(金)	10:15~11:00			学校探検 爆弾低気圧のため延期
10月27日(火)	10:30~11:30	学習発表会の1年生の発表を見てもらう	栄南小体育館	毎週木曜日 栄南緑地開放での交流
11月 4日(月)	10:30~11:30	栄南小学校と一緒に楽しもう	栄南小体育館	
11月12日(木)	10:15~11:00			学校探検
12月15日(火)	10:30~11:30	一緒に学校探検をしよう	栄南小校舎全体 1年教室	
12月21日(月)	13:25~14:10	就学前児童・保護者学習参観日		
3月		第2回 推進委員会		次年度計画の調整

「幼保小連携の交流計画」



3 取組の実際

さっぽろ夢保育園 ～ 学校施設の活用と日常的な交流～

(1) 運動会の体育館活用

昨年度より、「さっぽろ夢保育園」は運動会の会場として本校の体育館を利用している。体育館は若干狭いというデメリットはあるが、天候の心配がいないという点で大きなメリットとなる。また、園児に目が行き届きやすく、指示が通りやすいといった点でもメリットがある。運動会の練習についても、事前に数回来校し実施した。8～9月ということで、小学校は水泳学習が中心となるため、比較的体育館の使用が少ない。また、休み時間も天候が良ければ屋外のグラウンドを使用しているため、調整もしやすかった。そして、この体験が「小学校の体育館って大きいな。」「廊下も広いな。」「ここに水飲み場やトイレがあるんだ。」など園児にとって学校を身近に感じてもらうことや、「自分は小学校の中に入ったことがあるよ」という体験が自信につながるものと考えた。

(2) 栄南緑地での日常的な交流

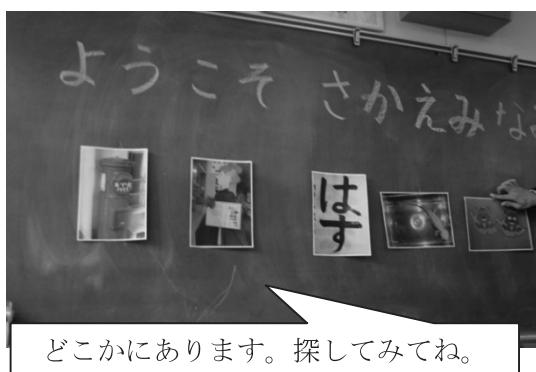
本校では毎週木曜日の中休み（10：20～10：45）、向かえに隣接する「栄南緑地」を使用し、進んで体を動かす環境づくりを行っている。幼保小連携推進協議会の際に活動についてお知らせし、「さっぽろ夢保育園」の園児もその日に合わせてよく遊びに来ている。同じ空間に居合わせる中で自然発生的に会話が生まれたり、遊び道具を貸し借りしたりして、一緒に遊ぶ姿が見られた。



チューブを貸したり竹スキーを借りたり

(3) 学校探検

爆弾低気圧の影響で延期になってしまったが、園児が学校探検を行った。各階2枚ずつ計4枚の写真を提示し、それらを探すような探検活動を構成した。数名で小グループをつくり、「何階から行こうかな。どれから探そうかな。」と簡単な作戦を立ててから活動した。園児たちはこれまで身に付けてきた力をフルに発揮し、友達と協力したり先生と相談したりして上手に探検し、写真に写っていた場所を見付けることができた。探検する中で、素敵な6年生を見付けたり、卒園した友達を見付けたりと、少しではあるが児童との関わりをもつことができた。園児にとってはとても貴重な体験になったようで、就学前学習参観の際には、親しみ深く挨拶や言葉をかけてくる園児がたくさん見られた。



(4) 総合的な学習の時間での園訪問

3年生の総合的な学習の時間で、地域の施設や店などから課題を見付け調べる活動を通し、地域のよさや人の温かさに気付いていく『マイタウン』という単元を設定している。児童が様々な施設を訪問するが、「さっぽろ夢

保育園」もそのひとつとなっている。園を訪問し、園長先生や先生方にインタビューをし、そこから発見したことをまとめ、友達や保護者に発表した。



園長先生と記念撮影



学習をまとめたことを発表

丘珠幼稚園 ～ 年間を通しストーリー性のある交流を目指して～

(1) 第1回 推進委員会

「子どもたちの思いや願いを大切にしたい」「できるだけ子ども主体の活動にしたい」という教師の願いから、活動が単発のイベントにならないように、ストーリー性を重視したり、子どもの思いを想定したりして年間を通した活動を構成する。そのために綿密な打合せと計画が必要になってくる。そこで、「丘珠幼稚園」年長組の担任教諭と本校第1学年の担任教諭、実務的な窓口となる教頭、教務主任による話し合いをもった。昨年度の実践の成果と課題を踏まえ、園児や児童の実態、予想される活動、その際のねらいなどを中心に協議し、日程等を決定した。

昨年度は6月に推進委員会を立ち上げることができたが、今年度は都合が合わず7月にずれ込んでしまったため、活動回数の変更はなかったが、本校児童が幼稚園に出向いて行う活動を行わないことにした。その代わりに学習発表会の観覧を設定することにより、交流回数を維持し、園児の「おゆうぎ会」とのつながりや、児童の「学習発表会への意欲」を重視することにした。



推進委員会の様子

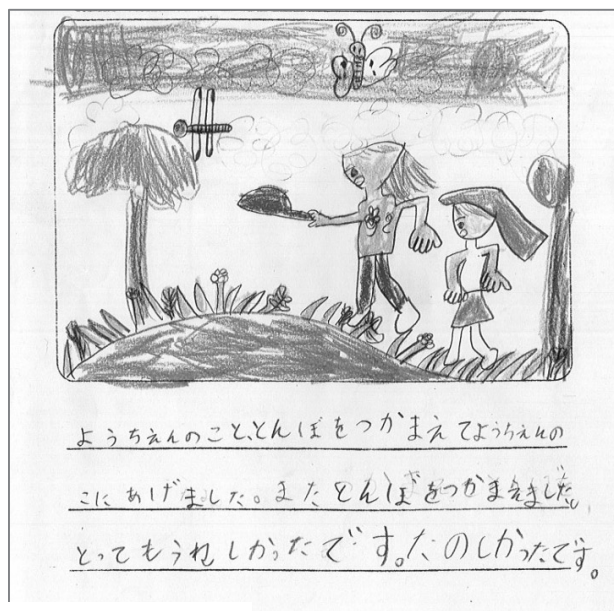
月日	時間	活動テーマ	活動場所	栄南小学校	丘珠幼稚園
7月14日(火)	16:30～	第1回 推進委員会			
9月17日(木)	10:30～11:30	対象との出会い	栄南緑地	《ねらい》 栄南緑地で出会う対象(もの・人)に気付き、進んでかわることができる。また、活動を振り返り表現することができる。 (活動内容) 同じ空間での活動から、自然発生的なかかわりを生む。公園探検の経験を生かし、一緒に虫を探したり、木の実を拾ったり、話しかけたり、遊んだりする。	《ねらい》 小学校の子どもたちとの出会いを喜び親しみをもつ。次にまた一緒に活動したいという気持ちをもつ。
10月27日(火)	10:30～11:30	学習発表会の1年生の発表を見てもらう	栄南小体育館	《ねらい》 学習発表会児童公開日前日の最後の練習を園児に見てもらうことにより、より相手を意識した発表にすることができる。 小学生として、自分の役割は自分の力で果たそうとする。活動後に園児からもうかがいを見て学習発表会保護者公開日への意欲をもつ。 (活動内容) 学習発表会の発表練習を園児に参観してもらう。	《ねらい》 学習発表会の発表を観覧することで、自分たちの「おゆうぎ会」を楽しみに思うことができる。 小学校の児童に観覧した思いを自分なりに表現することができる。
11月 4日(月)	10:30～11:30	栄南小学校で一緒に楽しもう	栄南小体育館	《ねらい》 幼稚園からのお手紙をきっかけに、相手意識をもって、どのようにしたら一緒に楽しめるかを考えて活動したり、工夫して行動したりすることができる。一緒に楽しむことができた自分に気付き、自信をもつ。 (活動内容) 体育館・教室での集団遊び(7つのコーナー)	《ねらい》 小学校の友達に再び会い、活動することを楽しみにしている。積極的に話しかけたりかわりをもったりしようとする
12月15日(火)	10:30～11:30	一緒に学校探検しよう	栄南小校舎全体1年教室	《ねらい》 3学期の一日入学を目標に、学校探検の計画を立てたり、お互いに楽しめる工夫をしたりすることができる。一緒に楽しむために必要なことを気付くことができる。 (活動例) 幼小合同の4～5人グループでの活動 チェックポイントを決めスタンプを集めるウォーク・ラリー形式の学校探検	《ねらい》 小学校にあるものや人に関心をもつ。学校の様子、学習の様子を見ることで小学校を身近に感じることができる。
3月	第2回 推進委員会				

(2) 対象との出会い

本校1年生児童は生活科の学習で緑地遊びを行うことになっている。そこに丘珠幼稚園年長児が遊びに来て偶然出会うという設定で活動を実施した。初めての出会いだったが、一緒にどんぐりを拾ったり、木登りをしたり、リレーをしたりと、あっという間に仲良しになった。最後にみんなで鬼ごっこをし、感想発表も行った。「楽しかったから、また一緒に遊びたいです。」と園児も立派に自分の思いを表現することができた。「今度は小学校の校舎には入って交流しよう」と約束をし、活動を終えた。



園児と児童と一緒にリレー

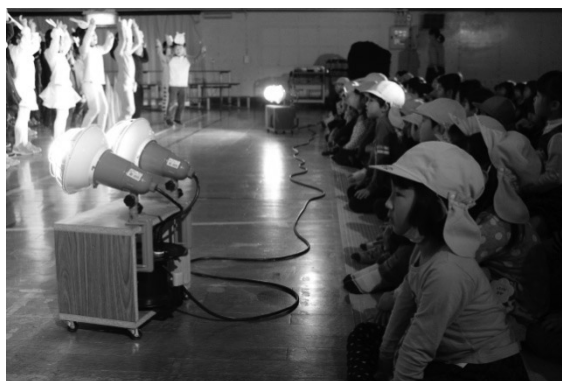


ふりかえりカード

（３）学習発表会の１年生の発表を見てもらおう

１年生の児童にとって初めての「学習発表会」である。これまで自分の役のセリフや動きを繰り返し練習し、自信を深めている。しかし、誰かに発表を見てもらうことは経験していない。そこで、園児に発表を見てもらい、一層意欲を高めたり、自信を深めたりする活動を設定した。園児にとっても「おゆうぎ会」を間近にひかえ、意欲を高める絶好の機会となる。

観覧の後、園児からのお手紙が届いた。書かれている園児の表現からも「伝えたい」という思いが良く伝わってきた。良いところをたくさん見付けてもらった１年生も保護者公開日に向けて意欲を一層高めることができた。



発表を真剣に観覧する園児

（４）栄南小学校で一緒に楽しもう

学習発表会を観てもらい手紙をもらった子どもたちは、「せっかく体育館に来てもらったのに遊ばなかった。だから、遊んでみたい。」という思いをもつ。そこで、１年生が遊びの企画をすることにした。テーマは「楽しませてあげること」ではなく、「一緒に楽しむこと」である。このような活動では、ついつい「～してあげる」活動になり、園児をお客さんのような関わりになってしまうがちである。双方が満足できる活動になるように子どもたちにもその点を伝え、準備に取りかかった。

活動場所は体育館、１年生教室、視聴覚室の３カ所に７つのコーナーを設置した。

- 体育館（リレー、こおりおに、ストラックアウト）
- 教室（おりがみ、ぬりえ、ねんど）
- 視聴覚室（ぱくだんゲーム）



自己紹介と行き先を相談



ストラックアウト

児童と園児が５、６人でグループをつくり、「どこで遊びたい？」「ぬりえが上手だね。」「トイレや水飲みに行かなくても大丈夫？」と優しい言葉をかけながら活動していた。いつもは６年生と遊んでかけてもらっている言葉を、今度は自分たちが言葉をかけていた。活動後に書いたふりかえりカードには、「新しく友達ができたよ。」「また遊びたいな。」と、楽しく過ごしたことを素直に表現していた。



最後はみんなで「じゃんけん汽車ぽっぽ」

(5) 一緒に学校探検をしよう

一年間の交流の最後は「学校探検」を設定した。園児たちが小学校を身近に感じたり、入学に期待をもったりすることをねらいとし、1年生児童にとっても、2月に行われる「一日入学」の先行体験として位置付けた。

1年生が2人ペアを作り、それぞれ園児2～3人を連れて学校を探検した。単に探検するだけでなく、たくさんある教室の中の3か所にスタンプを設置し、それを探すというミッションも行った。園児の手を引いて、「あそこは職員室だよ、入ってみよう。」「どこの教室を見てみたい?」と優しく言葉をかけたり、「スタンプをここに押してね。」「ここは理科室だよ。書いてみてね。」と積極的に関わる姿が見られた。



就学前幼児・保護者学習参観日

就学前の園児やその保護者が小学校の入学に対して不安をもっている場合も少なくない。小学校の様子をイメージしてもらったり、「これなら大丈夫。」「1年生もここまで成長するんだ。」と安心してもらえるように、次年度就学する園児とその保護者を対象にした学習参観を計画した。2学期末の時期であったが、30組程度の参加があった。

1年生の国語科「ことばって、おもしろいな」の学習を公開した。お店屋さんごっこで客と店員になってやりとりをする活動を通して、丁寧な言葉で尋ねたり対応したりする学習である。同じ單元ではあるが、3学級で授業場面を少しずつずらし、学級を自由に出入りしながら参観してもらうことにした。園児にお店屋さんごっこのお客さんになって学習を体験させながら進めている学級も見られた。

地域公開日(土曜参観日)の案内を近隣の幼稚園、保育園に配付しているが、あらためて就学前の園児、保護者を対象とする参観日を設定した方が保護者も安心して参観できたようだ。

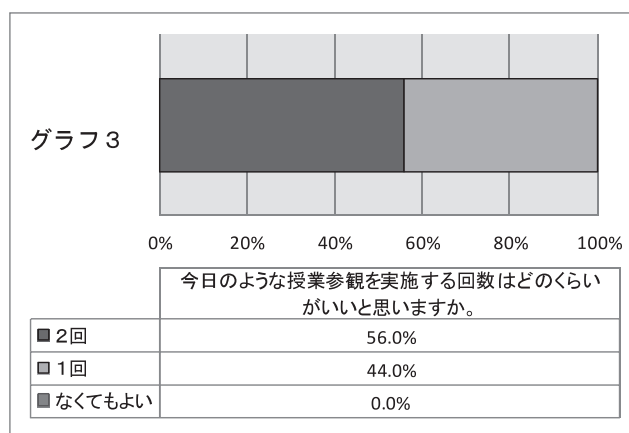
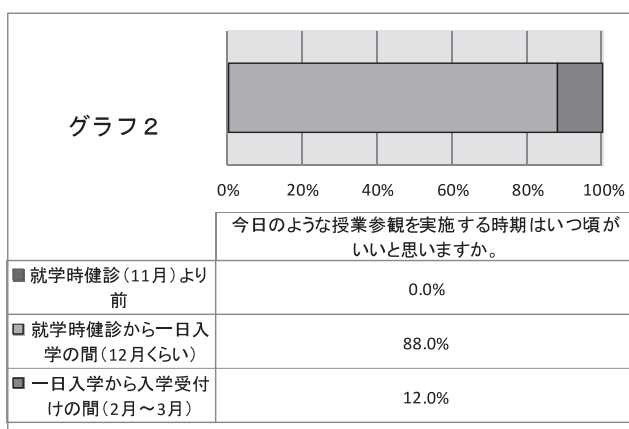
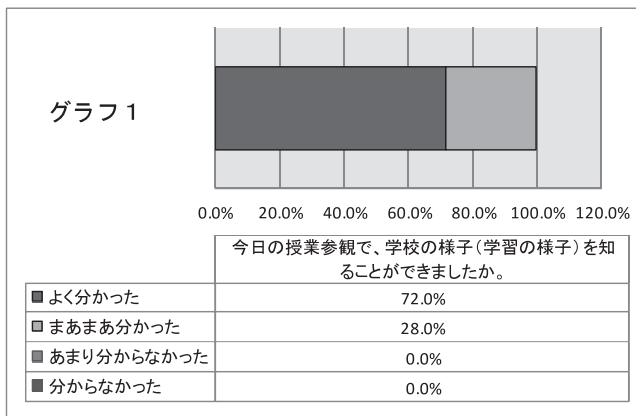


参観後にアンケートを実施した。結果は以下の通りであった。

グラフ1から分かるように、就学前の参観日の設定は大変有効である。自分の子どもの1年後をイメージしたり、実際に小学校の雰囲気を味わったりすることは保護者にとっても園児にとっても貴重な経験となる。

グラフ2、3から、回数は1～2回で、時期もおおむね良かったようである。

今年度は、「丘珠幼稚園」「さっぽろ夢保育園」の2園を対象に案内したが、次年度は就学時健康診断時に参観の案内を配付し、対象を広げていきたいと考えている。



《参加した保護者の声》

1	雰囲気がよく分かり、子どもも入学した後の様子の見通しがもてたように思います。
2	同じ単元でもクラスごとの雰囲気が違っていただけになりました。見学はとてもよかったので今後もお願いします。
3	普段の皆さんの様子を垣間見ることができて、来年度の我が子の様子を想像することができました。ありがとうございました。
4	こういうことをたくさんしていただけると嬉しいです。
5	クラスによって授業の仕方に違いがあることが分かりました。このような機会をありがとうございました。
6	入学前に授業の様子がつかめてよかったです。同じ教科でも先生によって内容が違って興味深かったです。ありがとうございました。
7	先生によって表現のさせ方が違うものだなと思いました。
8	親も子どもも初めてなのでこれからのイメージがわかりました。ありがとうございました。
9	楽しく授業をしている様子が見られて、また、お買い物に参加させてもらえたので子どもも楽しかったようです。子どもも来てよかったと言っていました。ありがとうございました。
10	授業体験ができるといいですね。
11	子どもが楽しめたようでよかったです。ありがとうございました。

4 成果と課題

(1) 成果

- 幼稚園との交流活動を通して、自信をもち進んで活動できるようになってきた。「生活科の学習が楽しい」「次はこんなことをしてみたい」という意欲的で主体的な態度が身に付いてきた。
- 普段なかなか接することのできない園児と関わることにより、相手意識をもって活動することができるようになった。
- 年間を通した繰り返しの活動から、子どもの育ちを見取りながら見通しをもって活動することができた。
- 2月に行った「一日入学」では、これまで体験したことや学んできたことを生かし、新1年生と関わることができた。準備も時間をかけず適切に進めたり、集団遊びでもしっかり自分たちで進行したりすることができた。



一日入学のふりかえりカードから、新1年生の立場に立って考える力や相手のよさを認めようとする態度が育っていることが分かる。

(2) 課題

- 年度初めの早い時期に推進委員会をもち、一層ゆとりのある交流活動を展開していくことが望ましい。
- 児童と園児の交流は十分できたが、今後指導者同士の交流がより必要となる。幼児教育と小学校教育が連携してスムーズに子どもの育ちや学びを接続するためにも、指導方法や幼児児童理解について共通理解を一層図っていく必要がある。